

KUMAGAYA SOUTH
Rotary Club of
Saitama RI
Dist. 2570



2008.6.18

President : Junichi Sagawa
Secretary : Kimikazu Kato
Hotel Garden Palace
Sayada3248-1 Kumagaya shi

No. 46



Wilfrid J. Wilkinson
RI President, 2007-08
Yoshihiko Ishikawa Governor
RI Dist 2570

第509回 クラブ協議会・一年を省みて



会長挨拶



会長 佐川順一

今年度、一年間、「環境・エコロジー」をテーマにロータリーライフを行なってきました。月一度の野外例会を通じてそのテーマに沿った問題に取り組んできたつもりではありましたが、期待された参加者が思いのほか少なく、エコロジー探求の半分も達成できたかどうか疑問ではあります。今日は「水」に関して少しお時間をいただきます。

現在、地球上に存在する水のほとんどは海水で、淡水は全体の2.5%にすぎず、そこには南極の氷も含まれています。人間が実際に使用するのは全体のわずか0.008%です。しかし、近代化が進むにつれ、この水が不足してきているというデータが出てきています。現時点で世界中の5人に一人(12億人)が安全な飲料水を手に出来ず、5人に2人(24億人)が下水などの基本的な衛生施設に欠いている状態です。このままなんの策も講じずに放置しますと2025年には、推定世界人口75億人の

本日のプログラム 6月25日(水) 引継例会

半分が水不足に直面するという予測もあります。実際、近代化が急速に加速する中国の場合、黄河の水位が下がり、流れが海まで到達しない「断流」が起こり始めています。人が口にする穀物を生産するには大量の水が必要なのはいうまでもなく、小麦1kgには1t、大豆の場合は2.5t、そしてそれらを飼料とする牛肉の場合、1kgあたり20tの水を消費する計算になるといいます。食物自給率の低い日本の場合、穀物、肉類、野菜の生産に内在された「水」も輸入していることとなります。つまり、日本が食物の自給率を高めればそれだけ水の消費につながることになるわけです。地球上の限りある「水」の確保のために将来、深刻な国際紛争も起こるだろうと予測する人もいます。雨が多く、山々に囲まれた日本ではまだまだ「水と安全」はお金がかからないという考えが多く、水の無駄使いに警鐘を鳴らす必要もあります。こうした事態に備え、「海水の淡水化」事業に取り組み世界的な成果を上げている日本企業もあり、経済性も加味したこの分野の発展がさらに進むことを期待したいものです。

会長 佐川順一

ようやく会長としての任期が終わると思ったら、妙に緊張感がみなぎってきました。一年前を振り返ると同じように不安と緊張で身のすくむ毎日でしたが、今の気持ちはそれに安堵感が加わった複雑な気持ちです。

一言で表現するとしたら、「大過なく任務をやり終えた」ということです。会長の任務といえば、例会のはじめと終わりにチャイムを鳴らすだけの毎週たったの一時間だけですが、そこに凝縮された会員の皆様の貴重な時間・知恵・汗・それに過分なる奉仕の心があったからこそこの「大過なく終えることの出来た一年」と言えるかと思えます。

毎週、例会プログラムを遅延することなく進行させていただいた SAA の皆さん、お世話様でした。また、会の運営執行に多大なご協力をいただいた島崎委員長率いるクラブ奉仕委員会、特に会報・HP 特別委員会、今年度は時間をかけて手作りの HP の立ち上げに成功した委員会の功績は賞賛に値するものです。

また、今年度より RI の推奨する CLP 改革によって当南クラブも棚澤会員を代表とする CLP 特別委員会のお骨折りにより、他のクラブに先んじる立派な下地が完成しました。

親睦委員会の澤田委員長を筆頭とする親睦員の皆さま、月初めの親睦例会は好評で出席率が高かったですね。クリスマス例会、親睦旅行大成功でした。ご努力に感謝します。

職業奉仕委員会、渡邊委員長の推し進めた「職業倫理、コンプライアンス」の精神に深く悼みいりました。企業努力、お疲れ様でした。

社会奉仕委員会高田委員長、エコロジー精神に則り、野外での社会奉仕活動、地区研修会も多く、さらに高田会員に突然の副幹事指名、大変な一年間でしたが、次年度も会長補佐としてこの勢いで是非乗り切っていただきたいと思えます。

菱沢委員長率いる国際奉仕委員会、WCS 寄付、特にポールハリス功労者並びに米山奨学功労者の協力会員には心より感謝の気持ちを伝えたいと思えます

新世代の岡本委員長、数々の研修会にご出席いただきまして、お疲れ様でした。岡本会員、当クラブの高齢者の中でもまだまだ若いということを証明していただきました。次年度もご活躍を期待いたします。今述べた方以外の会員の皆様にも本来なら一人一人に感謝の気持ちを述べたいところですが、時間の関係で省かせていただきます。加藤幹事、年度途中で病氣入院されましたが、極めて短期間で会に復帰さ

れましたことに対し、驚きと尊敬の念を禁じえません。お疲れ様でした。まだまだ、言葉が足りませんが、全会員の皆様に対し、深い感謝の気持ちを申し上げます。今年度、植竹知子さん、奥田尚幸さんの2名の新入会員をお迎えしました。大変クラブにとって活気づく喜ばしいことではありますが、一方、今年度3名の退会者も出してしまったということも反省すべき事実であります。増強の部門、地区に山口茂会員を出しながらも結果が出なかったということは偏に会長の不徳のいたすことと反省いたしております。次年度、全体でがんばっていきましょう。以上

SAA 小野寺弘行

今年度は、例会が円滑に進行でき、会員同士の親睦が深まるような、活動をしてまいりました。

親睦例会においての、特別に会場設営をとらせていただきましたが、皆さん親睦は深まりましたでしょうか？

SAAとして、全力投球をしてまいりましたが、至らない点が多々ありましたこと深く反省しております。

一年間皆さんご協力を頂きありがとうございました。

クラブ奉仕委員長 島崎次弘

クラブ奉仕委員会は最も多くの小委員会を傘下に持ち四大奉仕委員会の中で最も多く会員の方たちのロータリーライフに関わる委員会です。今年度の主な委員会活動をまとめてみますと、「会員増強委員会」は李一孝委員長の下、澤田会員の紹介で当クラブ待望の女性会員であります植竹さんに入会して頂きました。植竹さんは仕事の面でも大変実績のある方ですので、会員の皆さんにとってロータリーの仲間としてだけでなく仕事の面でも大変心強いパートナーになってくれることと思えます。また、李年度でコンビを組んだ棚澤さんの紹介で奥田さんという平均年齢の若い当クラブにふさわしい新しい仲間を得ることができました。奥田さんのような新進気鋭の将来ある若手に入会して頂いたのはたいへん弾みになることだと思います。今年度はこの2名の増強にとどまりましたが、引き続き次年度でもお二人のような素晴らしい会員を増強できるように会員みんなで努力していきましょう。

クラブ会報委員会では、さらなる経費削減の余波で思うような予算が取れない中、井上委員長もコスト削減を考えながらの紙面作りに苦労されたと思えます。そんな中でホームページのリニューアルが行

われ、会報のホームページへの毎週の掲載が可能になったこともあり、会報や連絡事項のペーパーレス化への提言もして頂きました。いきなりの切り替えは時期尚早ということで将来へ向けて検討を続けていくことになりましたが、時代の流れを考えての提案は有意義なことであると私も考えております。

ニコニコBOX委員会は毎週本当に忙しい委員会で棚澤委員長もさぞ大変だったでしょうが、お蔭様で目標額の60万円を5月早々にクリアし、それなりの上積みが期待できそうです。ご協力ありがとうございました。また、時折代打で登場した加藤次年度会長のニコニコの発表は意外なキャラクターが発揮され、大人気でした。早くも次年度の会長挨拶に期待が集まっております。

プログラム委員会と親睦委員会はそれぞれの委員長さんが我がクラブでも1・2を争う迫力のある方なので、私が口を挟む余地はありませんので全幅の信頼を持ってお任せできました。プログラムではメタボリック撲滅早朝ウォーキング例会や尺八の音色に耳を傾けお茶を嗜みながら名月を鑑賞するお月見例会など佐川年度の特色を生かしたユニークな例会も企画して頂きました。また岡部委員長には毎週メリハリのある次回例会案内を発表して頂きました。やはり岡部さんはひな壇とマイクが似合う方です。毎週何かの形でスピーチを頂きたい方だと思います。

親睦委員会は澤田委員長と親睦委員の皆さんの大車輪の活躍で素晴らしいイベントの数々を提供できたと思います。初めての一夜での納涼例会は温泉にゆっくり浸かってリラックスした雰囲気の中で和気藹々と親睦が図れました。そして家族と共に楽しんだクリスマス例会。記憶に新しい先月の親睦旅行では伊豆堂ヶ島の名旅館「銀水荘」に宿泊して一流ホテルのもてなしを満喫し、天候にも恵まれて各景勝地の観光も鮮やかで思い出深いものとなりました。

今年度は親睦委員会も例外ではなく緊縮予算となったため各イベントの予算組みでは澤田委員長も大変頭を悩ませたことと思いますが、素晴らしいアイデアと持ち前のバイタリティーで予算以上の内容のものを実現することが出来ました。その手腕に拍手を送りたいと思います。それにはパスト会長をはじめとたくさんの方に貴重なご芳志を頂きましたことも忘れてはいけません。その方たちにあらためて御礼申し上げます。

また、月に一度の親睦例会で例会場を半分ずつに分け、例会の後半は立食のスタイルのパーティー形式にするというこれまでになかったアイデアは私を含め会員の皆さんに一番喜ばれた企画だったと思います。親睦例会はいつも皆さん出席率抜群で、こんなことなら毎週親睦例会にしようかと佐川会長と話したくらいでした。澤田委員長ご苦労様でした。まだ来週には最後の大きなイベントの引継例会があ

ります。みんな楽しみにしておりますのでよろしくお願い致します。

このように各小委員長さんがしっかりやってくれましたので、クラブ奉仕委員長としては私はあまり働く必要がなかったのが私にとっては一番助かったことでした。しかしもう一つの役職の副会長として、佐川会長・加藤幹事・澤田副会長と4人で、理事会の前に毎月役員会を開き、理事会がスムーズ進行できるように毎回夜遅くまで打ち合わせをしました。それに多少なりともお役に立てたのが、今年度の私の一番大事な仕事だったと思います。理事会前に役員会を開くのは理事会の進行のためだけでなく、会の運営を担っていくためには大変有効であり、またしなければいけないことなのだとよく分かりましたが、これまで当クラブはどういう訳か役員会をする習慣がありませんでした。私の実感として、会を円滑に運営していくために今後も絶対に続けていった方がいいと思います。

委員会報告

● 出席報告

例会日 6月18日

会員数	出席	欠席	MU	出席率
31	17	13	1	58%

● ニコニコBOX

佐川順一会長・加藤公一幹事

だいぶ日がのびてきました。会員諸兄には、その分お仕事が忙しいのか、スタート時間に人数が少なく寂しかったですが、来週の為に今週ガンバツてくれるお心積もりでしょう。よくわかります。よく出席してくれましたありがとう。

澤田将信会員

お世話になります。来週.....よろしくお願い致します。

島崎次弘会員

先週の例会は休んでしましまして、申し訳ありませんでした。今週はその分も2週間分しゃべりたいと思います。よろしくお願い致します。

渡邊藤男会員

本日のクラブ協議会、担当の委員長の方はがんばって下さい。

高田直樹会員

皆さん今晚は、先週の岩手宮城地震では大変でした。大宮で新幹線が不通になり、又熊谷に戻って車で仙台まで行ってきました。被害の大きい名取市でしたが市街地は普段とあまり変わりませんでした。ご冥福をお祈りいたします。

植竹知子会員

7月26日、甲斐さんのセミナーあります。ふるってご参加を！！

岡本庄一郎会員

佐川年度、いよいよ最終の幕がおろされますね。御苦勞様でした。あとは、我々に任せて下さい。

棚澤正行会員

佐川会長、加藤幹事、いよいよあと2回ですね！一年間お疲れ様です。まだ何かあるかわからないので、今月中はケイタイつながる様にしておいて下さい。

加藤博会員

佐川会長、加藤幹事さん 1年間ご苦勞様でした。来週の引継例会よろしくお願ひ致します。

熊谷南ロータリークラブ

クラブ会報委員会 井上哲孝・川岸勝・渡邊藤男

TEL 048-522-6143 FAX 048-522-6153

E-mail: ksr@kumagaya south rc.com

<http://kumagaya-south-rc.com/>